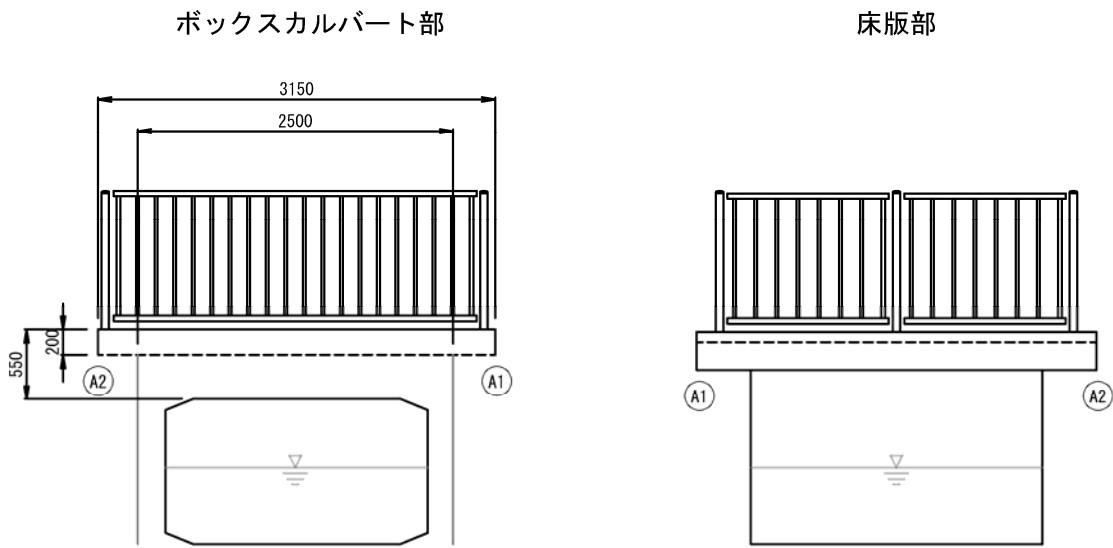
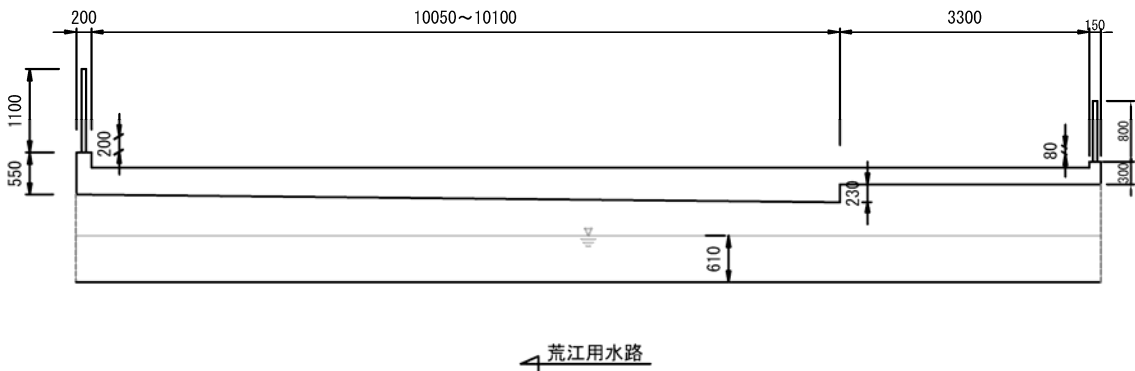


荒江8号橋 復元一般図

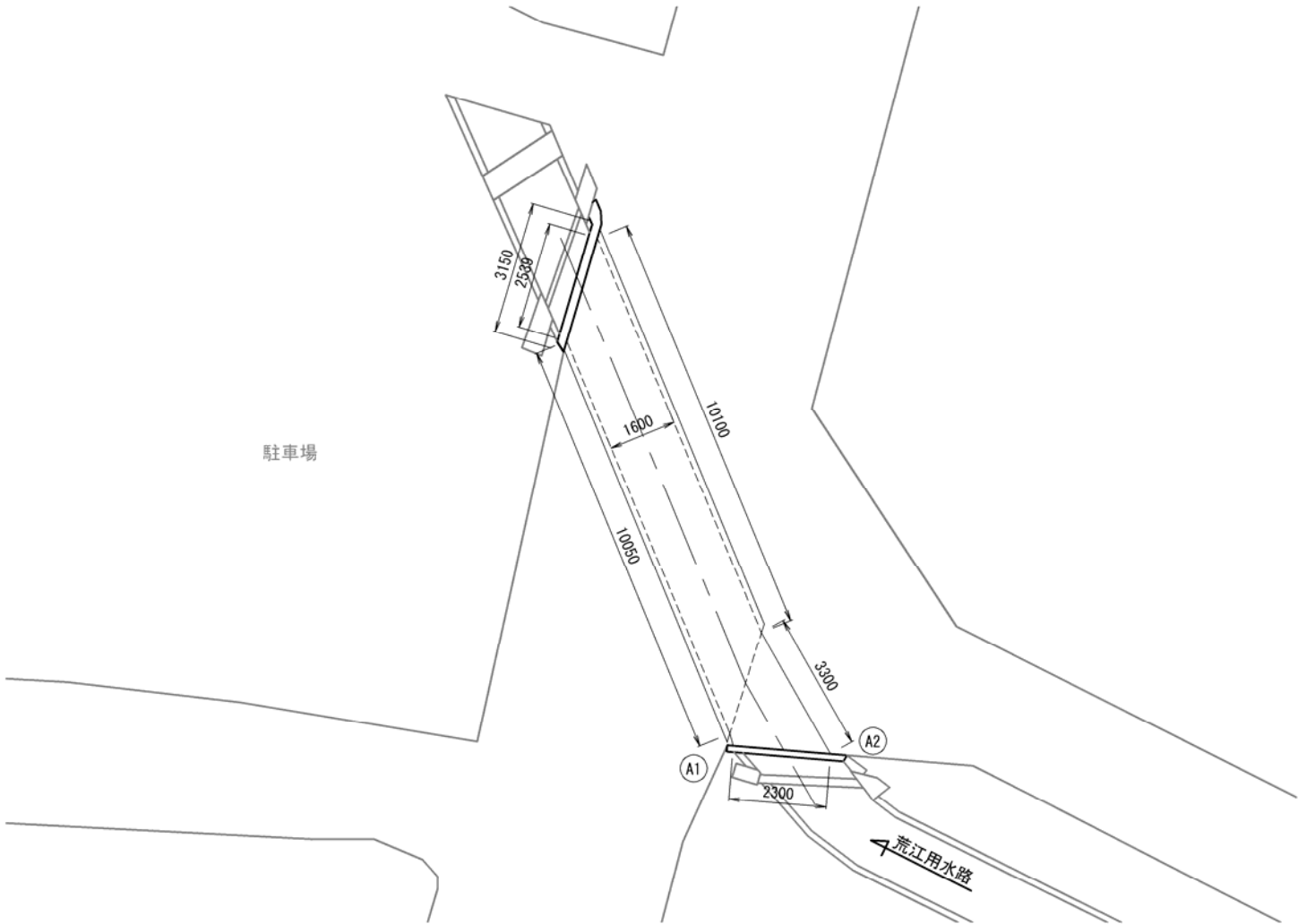
側面図 S=1:30



断面図 S=1:50



平面図 S=1:80



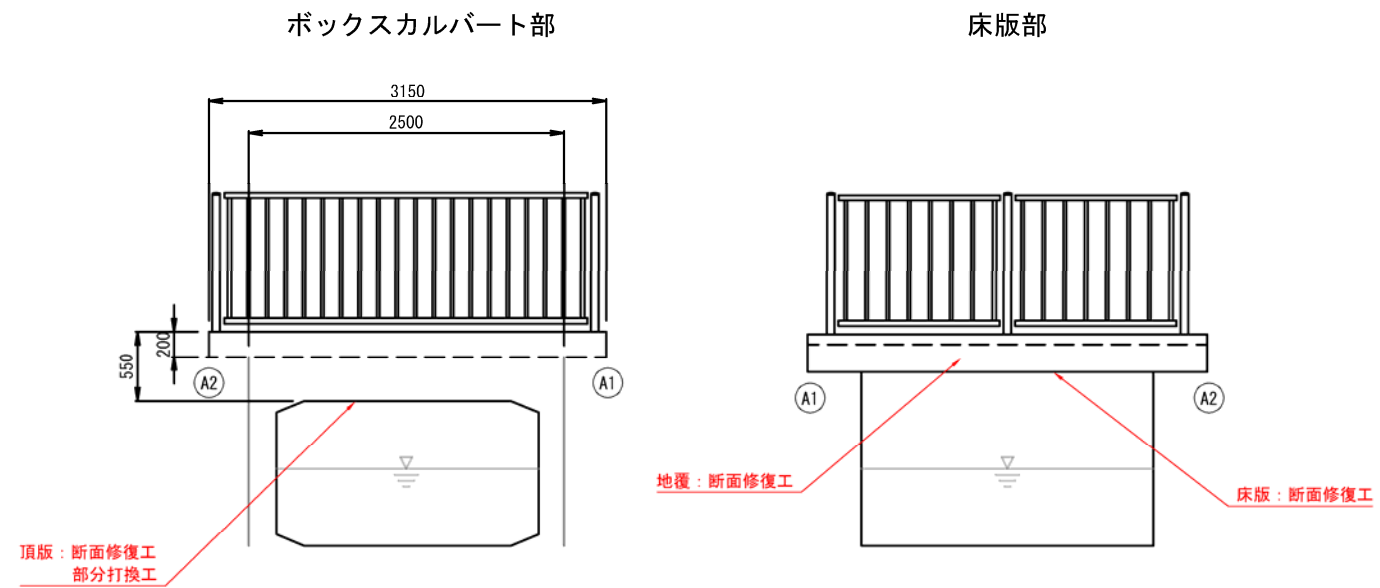
既設橋梁諸元

路線名・道路種別		今町中央線・二級市道
活荷重		不明
形式	上部工	ボックスカルバート+RC床版橋
	床版	RC床版
	下部工	橋台：不明
	基礎工	橋台：不明
橋長		3.150m
桁長		不明
支間長		不明
有効幅員		車道：10.050~13.400m 歩道：—
斜角		141° 00' 00"
縦断勾配		不明
横断勾配		不明
設計水平震度		不明
雪荷重		不明
平面線形		R=∞
舗装		アスファルト舗装
使用材料	上部工	コンクリート 不明 鋼材・鉄筋 不明
	支承	不明
	伸縮装置	不明
	下部工	コンクリート 不明 鉄筋 不明
基礎工	鉄筋・鋼材	不明
	鉄筋	不明
架設年次[供用年数]		不明
適用示方書		不明

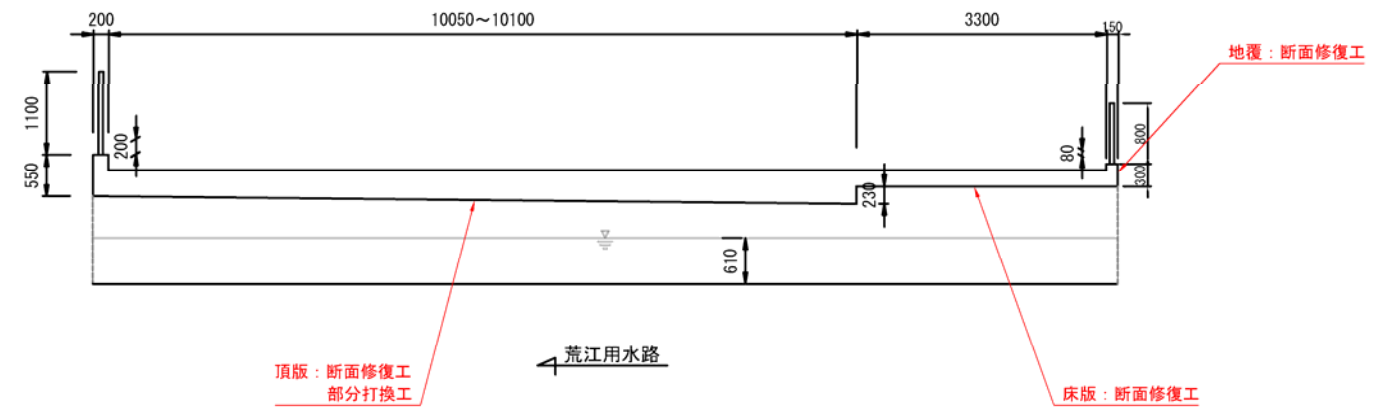
業務名	道メ委第2号 市道今町中央線 (荒江8号橋)ほか橋梁補修詳細設計業務委託		
図面名	荒江8号橋 復元一般図		
作成年月日	令和5年11月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 10
会社名	株式会社トップライズ		
事業者名	見附市都市基盤部建設課		

荒江8号橋 補修計画一般図

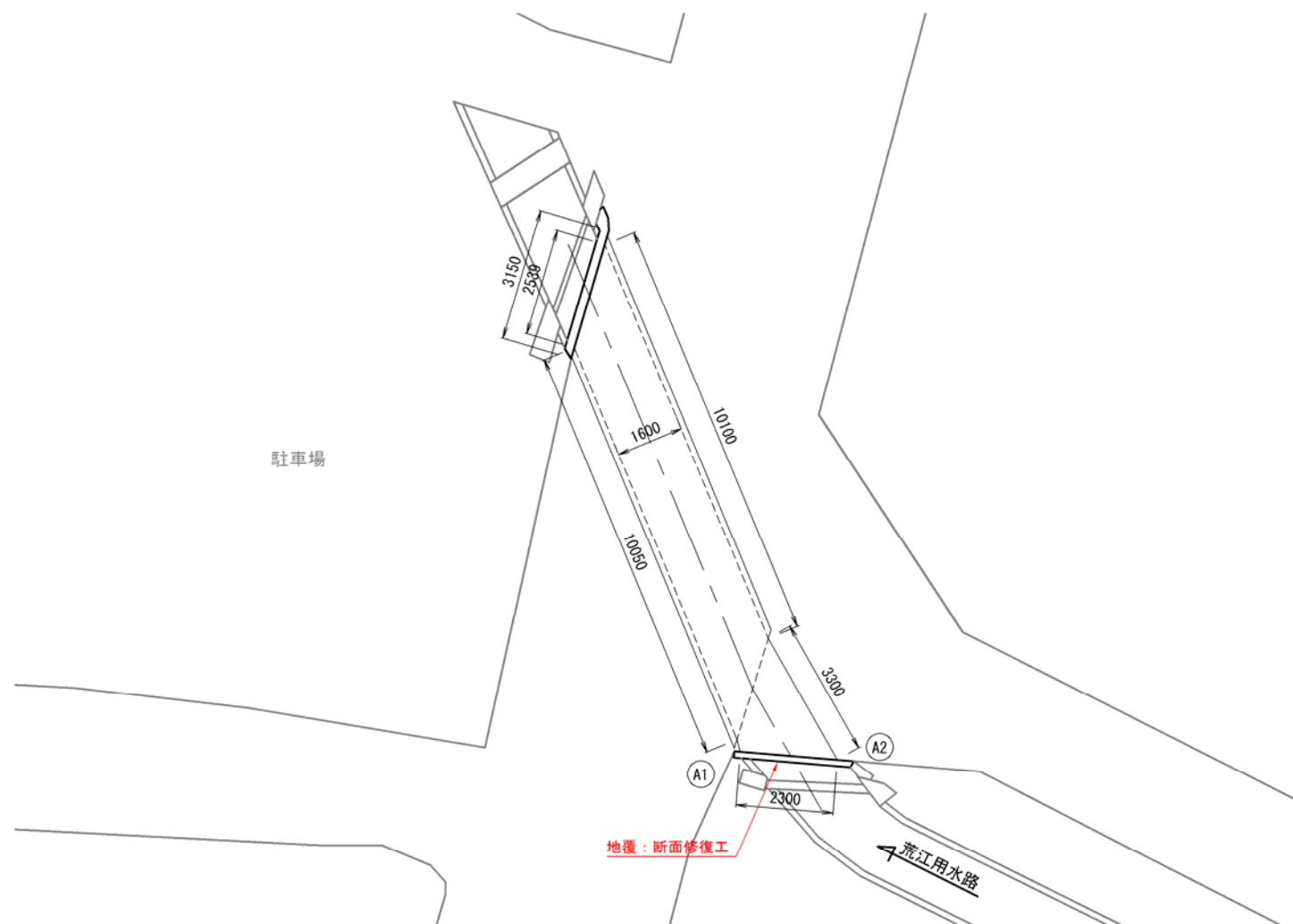
側 面 図 S=1:30



断面图 S=1:50



平面图 S=1:80



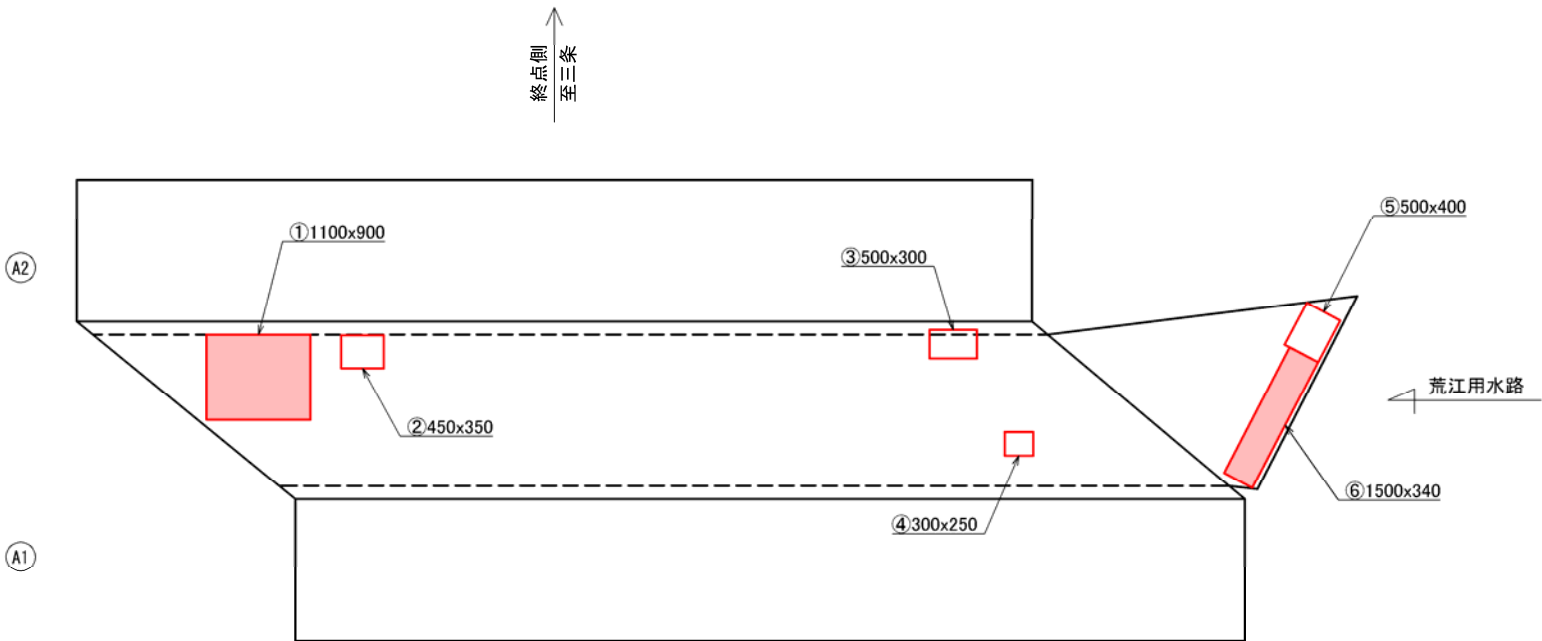
業務名	道メ委第2号 市道今町中央線 (荒江8号橋)ほか橋梁補修詳細設計業務委託		
図面名	荒江8号橋 補修計画一般図		
作成年月日	令和5年11月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 10
会社名	株式会社 トップライズ		
事業者名	見附市都市基盤部建設課		

荒江 8 号橋 補修図 その 1

断面修復工（ 頂 版・床 版・地 覆 ）

補修箇所詳細図

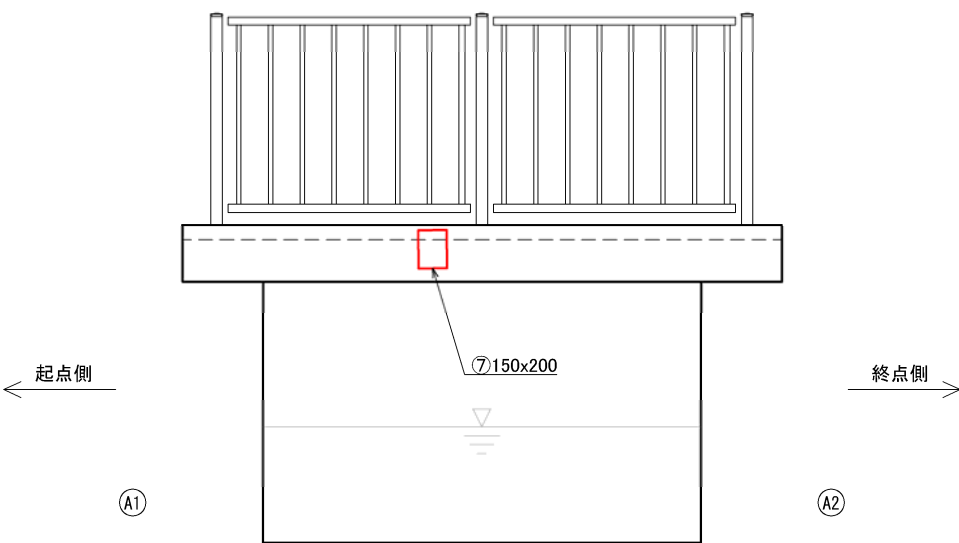
（ 頂版・床版 ） S=1:40



終点側
至三峯

起点側
至底間

（ 地 覆 ） S=1:20



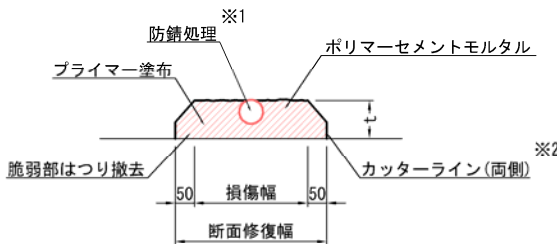
【補修方法：断面修復工法(左官工法)】
く ボックスカルバート部・床版部・地覆側面部 く

番 号	寸法(m)		深さ(m) ^{*1}	面積 (㎡)	体積 (㎡)	備 考
	幅	長さ				
①	1.100	0.900	0.030	0.990	0.0297	剥離
②	0.450	0.350	0.030	0.158	0.0047	鉄筋露出
③	0.500	0.300	0.030	0.150	0.0045	鉄筋露出
④	0.300	0.250	0.030	0.075	0.0023	鉄筋露出
⑤	0.500	0.400	0.030	0.200	0.0060	鉄筋露出
⑥	1.500	0.340	0.030	0.510	0.0153	剥離
⑦	0.150	0.200	0.030	0.030	0.0009	鉄筋露出
		計	鉄筋露出なし	1.500	0.0450	
		計	鉄筋露出あり	0.613	0.0184	
		合 計		2.113	0.0634	

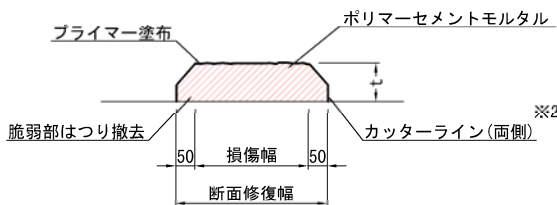
*1 深さ 30mm は想定である。

断面修復詳細図 S=1:100

鉄筋露出, さび汁がある場合

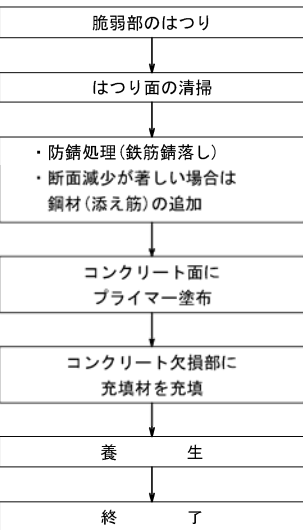


鉄筋露出, さび汁がない場合



断面修復エフロー

（ 左官工法 ）



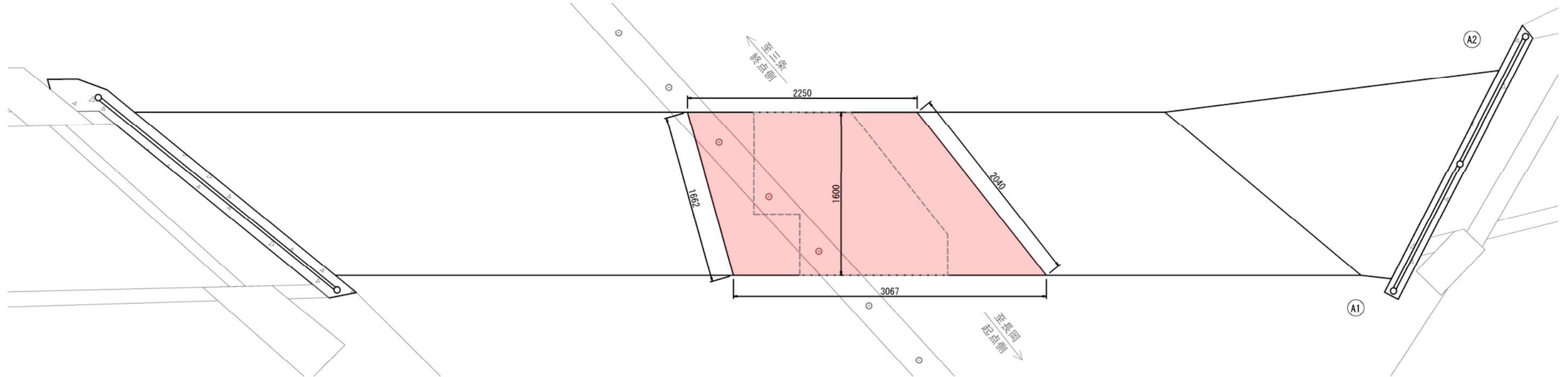
※1 鉄筋の腐食部を全て露出させ防錆処理を行ったうえで、断面修復を行う。
また、鉄筋に著しい断面減少がある場合は、新たに鋼材(添え筋)を追加したうえで断面修復を行う。
※2 カッターはフェザーエッジが生じないように注意する。

業務名	道メ委第2号 市道今町中央線 (荒江8号橋)ほか橋梁補修詳細設計業務委託
図面名	荒江8号橋 補修図 その1 断面修復工(頂版・床版・地覆)
作成年月日	令和 5 年 11 月
縮 尺	図 示 図面番号 3 / 10
会社名	株式会社トップライズ
事業者名	見附市都市基盤部建設課

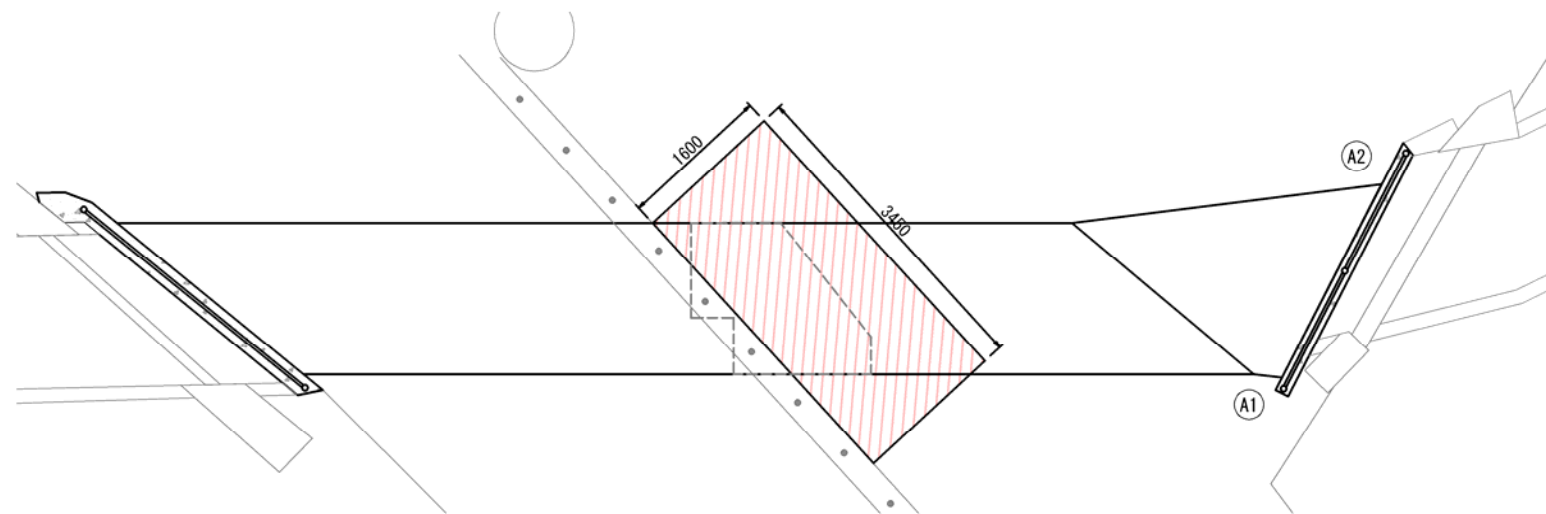
荒江 8 号橋 補修図 その 2

部分打換工（ 頂 版 ）

施工範囲詳細図 S=1:20

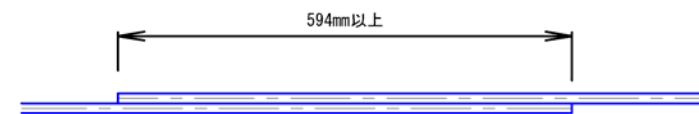


舗装撤去・復旧範囲図 S=1:40

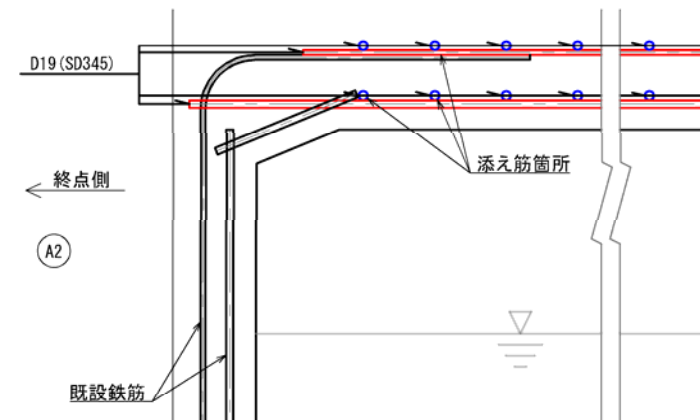


添え筋詳細図

〈河川方向重ね継手〉 S=1:5



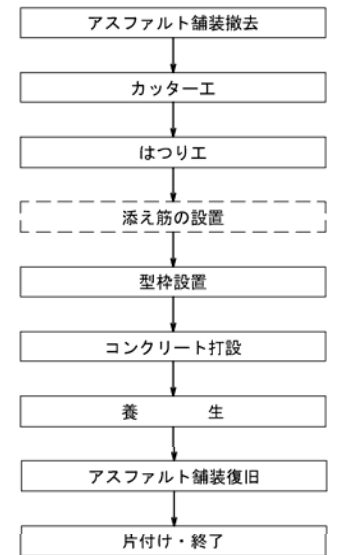
〈ボックスカルバート断面〉 S=1:10



※ 既設鉄筋は想定である。また、腐食の著しい鉄筋に添え筋をする。

部分打換工フロー

（ 頂 版 ）



凡例

- 舗装撤去・復旧範囲
- 修復範囲
- 鉄筋露出部

【数量表：部分打換工】

工 種	仕 様	単位	数 量	計 算 式	備 考
アスファルト舗装撤去	t = 60mm (想定)	m ²	5.52	1.6×3.45=5.52	既設舗装構成は想定である。 舗装厚が異なる場合は、現状復旧とする。
アスファルト舗装復旧	t = 60mm ⑦密粒度アスコン(新20FH)改質Ⅰ型	m ²	5.52	1.6×3.45=5.52	
コンクリート取壊し工(頂版)	t = 280mm (想定)	m ²	1.191	(2.25+3.067)×1.6÷2×0.28=1.191	
コンクリート工	t = 280mm 超速硬コンクリート	m ²	1.191	(2.25+3.067)×1.6÷2×0.28=1.191	
型枠工		m ²	4.907	1.6×3.067=4.907	
添え筋	D19 (SD345)	—	—	—	腐食の著しい鉄筋に添え筋をする。

【注記】・図面上の寸法・形状は既存資料および現地計測から作図したものである。
・施工時にあたっては現地再計測を行い再度確認を行うこと。

業務名	道メ委第2号 市道今町中央線 (荒江8号橋)ほか橋梁補修詳細設計業務委託		
図面名	荒江8号橋 補修図 その2 部分打換工(頂版)		
作成年月日	令和5年11月		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 10
会社名	株式会社トップライズ		
事業者名	見附市都市基盤部建設課		